

各 位

会 社 名 株式会社ラック
 代表者の役職氏名 代表取締役社長 高梨輝彦
 (JASDAQ・コード 4 3 5 9)
 (U R L http://www.lac.co.jp/)
 問 い 合 わ せ 先 取締役管理本部長 白石通紀
 電 話 番 号 0 3 (5 5 3 7) 2 6 0 0

平成 19 年 12 月期 中間期 (非連結) 業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年12月期第1四半期(平成19年1月1日~平成19年3月31日)の速報値および、平成19年2月15日付当社「平成18年12月期 決算短信(非連結)」にて発表いたしました平成19年12月期中間期(平成19年1月1日~平成19年6月30日)の業績予想の修正を、以下の通りお知らせいたします。

1. 平成 19 年 12 月期第 1 四半期 (非連結) 速報値 (平成 19 年 1 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
第 1 四半期 (速報値)	2,019	322	189
前第1四半期(平成18年12月期第1四半期)実績	1,612	45	44

2. 平成 19 年 12 月期中間期 (非連結) 業績予想の修正 (平成 19 年 1 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	3,470	130	70
今回修正 (B)	3,680	260	145
増減額 (B - A)	210	130	75
増 減 率	6.1%	100.0%	107.1%
前中間期(平成18年12月期中間期)実績	3,113	14	34

3. 修正理由

当社は当第1四半期において、セキュアネットサービス事業では監視サービスを中心に、サービス・製商品ともに受注が好調に推移し売上が予想を上回ったことや、設備投資時期を慎重に見極めるなど経費予算の一部が未消化であったこと、また、システムインテグレーション事業では順調な受注獲得のもと高稼働率が維持できたことなどにより、売上高は 2,019 百万円、経常利益は 322 百万円、当期純利益は 189 百万円となる見通しであります。

第2四半期は、監視やSMSなどストック型サービスの受注は引き続き堅調に推移すると予想しますが、検査やコンサルなどスポット型サービスと請負型のSI案件の受注は、当初予想のとおり季節要因などにより当第1四半期に比べ減少すると予想しております。

この結果、当中間期の業績見通しは、売上高は 3,680 百万円 (前回予想比 210 百万円の増加)

経常利益は 260 百万円（同 130 百万円の増加）、当期純利益は 145 百万円（同 75 百万円の増加）に修正いたします。

なお、通期の見通しにつきましては、ストック型サービスの割合が増加しているものの現時点では新規受注は不透明な要素が多いため、平成 19 年 2 月 15 日に公表いたしました「平成 19 年 12 月期 決算短信（非連結）」に記載の業績予想から変更ありません。

（注）当資料に記載する業績予想・見込みは、現時点において入手可能な情報に基づき、独自の判断により作成しておりますが、実際の業績は今後さまざまな要因により予想数値と異なる場合があります、実現を保証するものではありません。

以 上